

2. 主な実績評価指標の推移

- ✓ 主な実績評価指標の推移には、事業者が重要であると判断した環境課題への取組実績を示す実績評価指標の中から、特に重点的に取り組む環境課題の実績評価指標を2～3指標抜粋して、連結売上高等の主な経営指標を併記しながら、直近の連続する3～5年程度の推移が分かるように、一覧表示します。
- ✓ 実績評価指標の例としては、どの事業者にとっても重要な環境課題になる可能性の高い気候変動への取組に関する実績評価指標（GHG排出量またはその原単位等）、循環経済への適応指標となる廃棄物関連の実績評価指標（リサイクル率、廃棄物最終処分量またはその原単位等）等が考えられますが、基本的には、事業者の環境マネジメントの進捗状況をもっともよく反映する環境課題の実績評価指標を選ぶことが重要です。
- ✓ 主な経営指標の例としては、連結売上高以外に、連結営業利益や連結経常利益等の利益指標、ROA（総資産利益率）やROE（自己資本利益率）等の利益・資本の関係比率指標等があげられます。これも基本的には事業者が財務業績を評価する際に目安としている指標を利用することが望まれます。
- ✓ サステナビリティ報告書等の中で環境情報が開示される場合には、主な実績評価指標に事業者の重要な社会課題に関する実績評価指標も併記されることがあります。その場合は重要な環境課題の実績評価指標を少なくとも1指標選んで記載することが重要です。
- ✓ 主な実績評価指標の推移を示す上で、表形式にするか、グラフ表示するか、または、表とグラフを併用するかは、環境報告の利用者が分かりやすい開示方法を事業者が選択します。

開示例

	単位	20X1年度	20X2年度	20X3年度	20X4年度	20X5年度
連結売上高	億円	2,300	2,550	2,870	2,600	3,120
ROA	%	5.6	6.3	7.2	6.8	8.0
GHG排出量原単位	トンCO _{2e} /億円	7.6	7.4	7.0	7.1	6.5
廃棄物最終処分量	トン	5,000	4,880	4,200	3,900	3,850